

米中対立構図のなかで日本はどう生き抜くべきなのか?  
両国首脳の思惑から「ファーウェイ問題」の本質まで、独自の視線で鋭く分析!!

## 『「米中対立」のはざまで沈む日本の国難 アメリカが中国を倒せない5つの理由』

(著者)富坂聰

(価格)1400円+税 〈発売日〉2019年6月19日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『「米中対立」のはざまで沈む日本の国難 アメリカが中国を倒せない5つの理由』を2019年6月19日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

### ◆発売たちまちベストセラー第1位となった、 今後の米中関係を鋭く読み解く必読書!

TBS系「ひるおび!」、朝日放送系「教えて! ニュースライブ 正義のミカタ」をはじめ、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌でおなじみのNo.1 チャイナウォッチャーである著者が、21世紀最大の外交、安全保障問題である米中対立構図の本質をデータ、ロジック、そしてファクトで解き明かしたのが本書です。

ファーウェイはなぜ、倒れないのか。習近平国家主席はいま、何を考えているのか。トランプ大統領の新目的は何なのか。そして、この激動の国際環境のなかで、日本はどう生き延びていくべきなのか。メディアで流れる「トランプ vs. 習近平」構図だけでは絶対に見えない、報復の応酬の先にある両大国の真の目的、そして日本の進む道を徹底解説していきます。

大阪G20での手打ちを見事に予測。おかげさまで発売たちまちベストセラー第1位を記録しました(紀伊國屋書店ノンフィクション梅田本店・笹塚店・福井店<6/21>、玉川高島屋店<6/25>)。「中国崩壊論」に疑問を持つ方、近くて遠い隣国の真実を知りたい方、そして日本の行く末を見極めたいすべての方に送る、骨太の中国論です。



#### <本書の内容>

- 第1章 自信の回復 ~トラブルを解決できない愚かな国から脱却~
- 第2章 消費者の選択 ~世界中が陥った過度な“中国シフト”~
- 第3章 技術の内製化 ~「中国製造2025」の先にあるもの~
- 第4章 外交の転換 ~習近平の“語録”から消えた「核心的利益」~
- 第5章 利害の複雑化 ~分裂するアメリカの思惑と中国の最終ライン~

#### 富坂聰(とみさか さとし)

1964年愛知県生まれ。北京大学中文系に留学した後、週刊誌記者などを経てフリージャーナリストに。94年『龍の伝人』(小学館)で、21世紀国際ノンフィクション大賞(現・小学館ノンフィクション大賞)優秀賞を受賞。新聞・雑誌への執筆、テレビコメンテーターとしても活躍。2014年より拓殖大学海外事情研究所教授。『中国がいつまでたっても崩壊しない7つの理由』(ビジネス社)、『トランプ VS 習近平 そして激変を勝ち抜く日本』『風水師が喰い尽くす中国共産党』(以上、KADOKAWA)、『中国は腹の底で日本をどう思っているのか』(PHP研究所)、『平成海防論』(文藝春秋)など著書多数。

【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。